新型コロナウィルスは英語で、COVID-19と呼ばれています。何の略かというと**Co**rona**vi**rus **d**isease 20**19**で、「Corona(コロナ）」＋「Virus（**ヴァ**イラス、ウイルス）」＋「Disease（ディ**ズィ**ーズ、病気）」＋「2019」で、それぞれの頭文字とウイルスが発見された年が由来だそうです。

コロナで学ぼう　英語！

日本ではコロナウィルスの集団感染拡大防止対策として、「3密を避けましょう」と言われています。「密閉」「密集」「密接」の3つです。

これを英語に直すと、“Avoid the “**Three Cs**”となります。Ｃとは何の略でしょうか。

1. **C**losed spaces with poor ventilation
2. **C**rowded places with many people nearby
3. **C**lose contact settings such as close-range conversation

日本語に直すと、以下のようになります。

1. 換気の悪い密閉した空間

**Closed**（ク**ロ**ウズド）とは”close”（閉じる、閉める）という動詞が変形して“閉ざされた”という受け身の意味になります。space（スペイス）が「空間」ですので、「閉ざされた空間」となります。

これまで動詞の活用（変形）と言えば、play-played（現在形―過去形）という2つでしたが、3年生ではplay-played-played（現在形-過去形―過去分詞）の３つを覚えていきます。というのは、基本的には過去形と同じ形で、動詞にedをつけます（規則動詞）。ですが、例外もあるので一つずつ覚えていきましょう。

　　ここでいうclosedは実は過去分詞という形です。授業が始まったら伝えますが、be動詞と一緒に過去分詞が使われると、「～される」という意味になります。

1. 多くの人が**密集**する場所

**Crowded**（クラウディッド、混雑した）という形容詞は1年生で学習しましたね。

1. 近距離での会話などの密接な接触のある環境

**Close**はクロウ**ズ**とは読まず、ク**ロ**ウ**スと読み、**「近い」や「密接な」を意味する形容詞です。よく似たclosely（クロウスリー、接近して、じっと）は3年生の教科書Unit4に出てきます。such as～は「～のような」という大切な熟語でしたね。

３Ｃ（**Closed, Crowded, Close**）がわかったところで、英語のチラシを読んでみましょう。

　3つの密　<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000619576.pdf>